

令和4年度 学校経営方針

小平市立小平第七小学校長 神子知浩

学校経営の理念

学校経営の目標は、教育目標の達成である。すなわち、人間としての知・徳・体を育て、よりよく生きようとする意思をもつ子どもの育成を目指していかなければならぬ。その目標達成に向けて、学校は子どもの発達段階や特性を考慮して創意工夫し、特色ある教育課程を編成しその実施に努めるものとする。

公教育としての根拠

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法等の法令及び学習指導要領
- ・都・市の教育目標

「子どもの笑顔と思いやり」を実現するため

- 子どもが豊かに関わり合う学級経営
- 主体的に学び、相互に高め合う授業
- 自他を尊重し、認め合う態度の育成

目指す学校の姿

子どもも大人も笑顔と思いやりがいっぱいの学校

子ども・保護者・地域の願い

- ・楽しい学校
- ・活力のある学校
- ・安全安心な学校
- ・開かれた学校
- ・子どもが健やかに成長する学校

「保護者・地域の笑顔と思いやり」を実現するため

- 安全・安心で落ち着いた学校の雰囲気づくり
- 何事にも前向きにチャレンジする気運の醸成
- 保護者・地域と相互に支え合う主体的な連携

「教職員の笑顔と思いやり」を実現するため

- 全体の奉仕者としての自覚の徹底
- 教職のプロ・組織人としての自信
- 「独善的・排他的・感情的」意識の払拭

重点目標

よく考える子

よい考えいっぱい 他者と考えを深め合える子

熟考と表現
よりよく学ぶ姿勢

教育目標

いつも元気な子

あいさついっぱい すすんで行動しようとする子

歴史と伝統を継いで、
新たな歴史をつくる！

こころのやさしい子

思いやりいっぱい 相手の気持ちを考えられる子

自他の尊重
受容と共感の姿勢

教育目標の達成のために

たくましく生きる力の育成

「日常的な挨拶の指導」を徹底し、いつでも、どんなことにも、すくんで粘り強く取り組むことができる児童の育成を目指す。

- ①健全育成PTと連携した「あいさつが飛び交う学校」づくり
- ②地域行事、諸作品募集等に対する積極的な取組の促進
- ③運動の日常化と体育的活動の充実及び体力向上PTと協議
- ④専門的知識を導入した健康教育・食育を実施
- ⑤生活点検表の活用等、家庭との連携

豊かな心の育成

「人権を尊重する学級経営」を進め、自他の生命を大切にするとともに、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成を目指す。

- ①「特別の教科 道徳」の研究成果を生かした道徳科の充実
- ②人権意識を高める指導・環境づくり
- ③学校内外の組織と連携した生活指導
- ④七小スタンダードを基に規範意識を高める
- ⑤朝会・集会を利用した整列や挨拶等集団行動の指導

情報教育の推進

- ①視覚的に分かりやすい授業とタブレットの積極的活用
- ②情報モラル教育を進め、情報選択・活用能力を育成
- ③プログラミング教育の実践による指導力向上

特別支援教育の充実

- ①特別支援教室の有効活用・連携した指導とミニ研修の実施
- ②校内委員会の充実と特別支援教室担任との情報共有
- ③関係諸機関や幼保中学校及び家庭と連携し継続した支援体制

キャリア教育の推進

- ①「七小の顔」の意識の育成
- ②縦割り班活動・セーリングピックの充実
- ③心の教育のカリキュラムマネジメント

- ①「表現力」を高める実践的な研究
- ②校内OJT研修会の充実
- ③相互授業参観及び研修報告会の実施
- ④オリ・パラ教育の継続
- ⑤危機管理対応研修の実施

コミュニティ・スクールの推進

- ①3校連絡協議会や合同CSを活用し、様々な課題へ対応
- ②各プロジェクトチームと教員が連携し、よりよい教育活動を展開
- ③関係の幼稚園、保育園との交流学習の推進と近隣小・中学校との交流活動を実施
- ④コミュニティ・スクールの活動を広報し、より多くの方々の理解と協力を得る

教職員の姿勢

- 児童を心から慈しみ理解し、よさや個性を引き出し、伸ばす
- 自らの課題を認識し、日々研鑽に努めると共に、協働して磨き合う
- 地域を愛し、地域や保護者と共に、積極的に対話しながら保護者や地域の信頼に応える